

# しぶや区議会だより

No264

第4回定例会号  
新年合併号

平成27年(2015年)  
1月1日発行

## 主な内容

本会議の経過・議案等の概要と結果 … 2面  
代表質問・一般質問(要旨) … 3～6面  
委員会の活動状況 …………… 7面  
新春を迎えるの各会派の抱負 …… 8面

発行/渋谷区議会 〒150-8010 渋谷区宇田川町1番1号 ☎(3463)1096(直通) 渋谷区議会ホームページ <http://www.city.shibuya.tokyo.jp/gikai/>



渋谷上空より富士山

## しぶやの未来像構築に向けて

あけましておめでとーございます

区民の皆様には、お健やかに新春をお迎えのことお慶び申し上げます。日頃から区政並びに区議会の活動に対し、あたたかいご理解と協力を賜り厚く御礼申し上げます。

議長  
前田 和茂



新しい年を迎えた渋谷区議会は、渋谷の街の未来について、様々な視点と角度から審議を重ねていく、未来像構築の年と捉えております。

喫緊の課題である庁舎の建替えについては、区議会が適切に関与していくために「議会の議決に関する条例」を制定し、区の負担は最小限に留めつつ、民間の活力を導入して、「平和・国際都市渋谷」にふさわしい新総合庁舎建設を進めます。

推進にあたっては、庁舎問題特別委員会での審議に加えて、区長の要請を受けて欧州訪問調査団の派遣を議決しました。環境との融合やユニバーサルデザイン、国際化、ICTの活用、セキュリティ、市民と議会を結び市民参加を促す庁舎・議会のあり方等、直接見聞しなければ理解することが困難な事項も含めて報告にまとめ、提言しました。

更には、区民の皆様から、説明会や意見公募で寄せられたお声と合わせて、具現化を図ってまいります。

副議長  
沢島 英隆



五年後のオリンピック・パラリンピック開催に向けて昨年は、「五輪・パラリンピック対策特別委員会」を設置し、機運の醸成を図り区民の皆様と一体となって取り組んでいくために、「渋谷区くみんの広場」に出展してPRを行うなど、各委員会とも、それぞれが精力的に活動しております。

今年の四月には、代々木小学校、山谷小学校両校の伝統を受け継いで、「代々木山谷小学校」が開校し、新しい学び舎が歩みはじめはるが、保育園では、待機児童対策として「西原保育園ゆめ」が開園いたします。

渋谷駅周辺も新しい街の顔として、少しずつ変化を遂げており、区民をはじめ来街者が安心して訪れる街、楽しめる街として、ハードのみならず、より魅力的な街づくりを働きかけてまいります。

渋谷区議会は、区民の皆様が将来に明るい希望を持って、子育てしやすく高齢者が安心して住める街、ファッションと文化、芸術やスポーツの楽しめる街を目指して全力で努めてまいります。引き続き、ご理解とご支援をお願い申し上げます。

本年が区民の皆様にとりまして、より良い年でありまことを心からご祈念申し上げます、新年のご挨拶いたします。

- |            |        |                      |       |
|------------|--------|----------------------|-------|
| 総務区民委員会委員長 | 下嶋 倫朗  | 自治権確立特別委員会委員長        | 斎藤 竜一 |
| 都市環境委員会委員長 | 吉田 佳代子 | 交通・公有地問題特別委員会委員長     | 苫 孝二  |
| 文教委員会委員長   | 菅野 茂   | 庁舎問題特別委員会委員長         | 丸山 高司 |
| 福祉保健委員会委員長 | 新保 久美子 | 五輪・パラリンピック対策特別委員会委員長 | 伊藤 毅志 |
| 議会運営委員会委員長 | 木村 正義  |                      |       |

しぶや区議会だよりは点字とカセットテープでも発行しています。詳しくは区議会事務局調査係までお問い合わせください。

第四回 渋谷区笹塚駅前区民施設条例、平成二十六年年度一般会計補正予算(第四号・第五号)などを可決

平成二十六年第四回定例会は、十一月二十七日から十二月九日までの十三日間開かれ、本会議の初日には、五人の議員が代表質問を、二日目は、六人の議員が一般質問を行いました。今定例会では初日に、人権擁護委員の諮問三件を支援ない旨答申し、二日目は、職員の給与に関する条例の一部を改正する条例など五件を可決しました。最終日には、渋谷区清掃及びリサイクルに関する条例の一部を改正する条例九件、平成二十六年年度一般会計補正予算二件、契約一件、特別区道路線の廃止について一件を可決しました。また、請願一件を不採択、意見書三件を決定しました。

女性のための施策の充実に関する意見書

政府は、女性の活躍を成長戦略の柱の一つと定め、二〇二〇年に指導的地位に占める女性の割合三十%との目標を掲げ、「女性活躍担当相」を新設した。また、「女性活躍推進法」を提出し、その取組の推進を「国や地方自治体の責務」と位置づけ、仕事と家庭の両立を図る環境整備などに向けた基本方針を国が策定するとした。そのうえで、国や地方自治体に加え、従業員が三百人を超える企業・団体に対し、女性管理職の割合や女性の採用比率、女性の勤続年数といった項目について状況把握・分析し、改善すべき事項等に関する数値目標を盛り込んだ行動計画を定めて、これを公表することを義務付けることとした。今後、女性のための施策の充実を図るためには、こうした取組を確実に進め、一層加速化していかねばならない。よって、渋谷区議会は、国会及び政府に対し、次の事項について適切な措置を講じられるよう強く要望する。

- 一 「二〇二〇年に指導的地位に占める女性の割合三十%」との目標について、民間に先駆けて政府、国会、地方自治体により早急に率先して取り組み、毎年その進捗状況について公表すること。
- 二 女性が幅広い分野で活躍できるよう、働く女性への差別を是正し、均等待遇の実現、職場復帰等の支援や、起業支援、在宅テレワークの推進など、女性が働きやすい環境整備のための支援措置を創設すること。
- 三 家庭生活と仕事を両立できるよう、育児・介護休業制度の抜本的見直しなど、同一労働にもかわらず男女間に生じる賃金格差の実質的な解消のために必要措置を早急に講じること。
- 四 働く女性が妊娠、出産を理由にした不利益な対応や嫌がらせを受ける「マタニティー・ハラメント(マタハラ)」の撲滅に向け、企業などに対し、マタハラを防ぐ行動計画の策定を義務付けること。
- 五 「女性の健康の包括的支援法」の制定、女性特有の疾病予防対策、不妊治療・不育症に対する助成の拡充など幅広い支援を一層拡充すること。

以上、地方自治法第九十九条の規定により意見書を提出する。

平成二十六年十二月九日 渋谷区議会議長 名

議員の年賀状等は廃止しています

渋谷区議会では、平成元年第四回定例会において「虚礼等廃止に関する決議」を行いました。区議会議員の年賀状・寒中見舞いなどの挨拶状は廃止しておりますので、この紙面を借りて、ご挨拶に代えさせていただきます。区民の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

次回定例会のお知らせ

平成二十七年第一回定例会は、三月に開かれる予定です。主に、平成二十七年年度各会計予算が審議されます。本会議は、初日と二日目に代表質問及び一般質問、また、最終日に議案の議決等が行われる予定です。本会議・委員会とも傍聴できますのでお気軽においでください。

第 2 回臨時会 / 議案等の概要と結果

Table with 3 columns: Item Name, Summary, and Voting Results (賛成, 反対, 出席, 欠席, 無所属).

第 4 回定例会 / 議案等の概要と結果

Table with 3 columns: Item Name, Summary, and Voting Results (賛成, 反対, 出席, 欠席, 無所属).

代表質問

**庁舎建替え、高齢者福祉、子育て支援等 8 点を伺う**



自由民主党  
齋藤 竜一 議員

庁舎建替えについて

**問** ①新庁舎・新公会堂の整備計画が明らかになったが、これからの区民への周知方法は、②事業計画の見直し内容と今後のスケジュールを伺う。

**区長** ①区ニューステ集号やホームページで計画を示し、区長として住民説明会でも説明した。区民の意見を反映させ設計計画を作成していく。②建設費高騰に伴いマンションの高さを三十九階とし付加価値を高めることでコストを吸収。建設コストは四十三億円、約二十九%の増。基本協定は解体積立金を担保する等、新たな含意項目を含め議会の議決に付す。③仮設庁舎移転の経費は約四十六億円、当初より二十四億円減少する見通し。

**問** 今後増え続けると想定される認知症高齢者対策は最も重要な課題。これからの施策展開を伺う。

**区長** 第六期高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画は作成委員会が審議中。新たに認知症ケア推進担当課長を配置。早期発見に結び付ける相談コーナーを創設し、看護師等を配置し医師の定期相談も行う。地域包括支援センターも併設し包括的に対応する。在宅医療相談窓口を認知症相談コーナーに一元化し、区独自の拠点としたい。認知症カフェも併設し情報交換の場にした。良質の介護のため認知症サポーターのフォローアップ講座も実施。認知症になっても安心して暮らしていくため、デイサービスやグループホームなども総合的に活用し認知症対策を推進する。

**問** 区内の民営障害者通所施設は登録者の定員を超え、グループホーム増設や働ける場の確保、通所施設の拡充が課題。既存の区施設を活用した施設整備の進め方を伺う。

**区長** 水川敬老館をグループホームに活用したい。就労支援施設は、笹塚区民集合施設を代替施設に活用し課題の解決を図る。通所支援施設は、代々木小学校跡地の一部を活用し、安定運営できる施設を整備。区施設の再利用等様々な方法を検討していく。

**問** ①子ども・子育て支援新制度を踏まえた区の基本的な考え方を伺う。②待機児解消に向けて待機児の見通しと保育施設の検討状況を伺う。

**区長** ①保育料算定は保護者負担が増加しないよう配慮。区の軽減策も引き続き実施。二十七年年度から認可保育園、認定こども園等は償還払い方式を変更し軽減後の額を通知教育・保育の向上に全力を傾けたい。②十月一日時点の待機児は二百七十五人。改修中の代々木保育園、初台保育園と西原保育園ゆめや八十二人、既存園四十二人、合計百七十八人の定員拡大を進めるが、来年度の申し込み状況等を勘案し、広尾と初台保育園の仮設園舎で各七十四人の緊急の対応を行う。二十八年度は、児童福祉センター内と代々木小学校跡地に、二十九年度以降は、笹塚図書館移転跡地、幡ヶ谷二丁目防災公園予定地に保育施設の準備を進める。昨年以上の定員申し込みがあり、引き続き定員拡大に努める。

教育について

**問** ①乳幼児期の教育を充実させるため、就学前教育をどう仕上げるのか。②本町学園の特色の英語重点教育は施策にどう反映されているのか。

**教育長** ①就学前オープンスクールで、集団生活への適応能力など小学校入学に必要な

**問** まちが発展し人が増えるのとこみ問題が懸念される。今回の条例改正は、具体的にどんな方策で目的達成するのか。

**区長** 事業系こみの減量が課題で、資源循環型社会の観点から事業用大規模建築物の再利用率の下限を数値化し、再利用を促進。未達成の場合一キロ当たり十円を課すこみ減量協力金一の拠出により再利用への誘導を図る。協力金は制度導入の目的、内容を事業者等に行き渡らせるため二十九年度から実施する。

**問** 地元は代々木小施設活用協議会を組織し要望書を提出。施設活用内容、地元との話し

**区長** ①住民説明会で耐震補強か建替えか住民に意見を聞くべきとの声が出された。住民の声を真摯に受け止めるべき。②企業に大儲けをさせる手法の建替えは中止すべき。③十三億円かけて耐震補強工事をした公会堂の建替え、仮設庁舎に七十億円は無駄遣い。都

**問** ①国に求める考えはない。繰越金は年度当初の支払財源。②今後の動向を注視。

**区長** ①国に求める考えはない。繰越金は年度当初の支払財源。②今後の動向を注視。

**問** ①子ども・子育て支援新制度を踏まえた区の基本的な考え方を伺う。②待機児解消に向けて待機児の見通しと保育施設の検討状況を伺う。

**区長** ①保育料算定は保護者負担が増加しないよう配慮。区の軽減策も引き続き実施。二十七年年度から認可保育園、認定こども園等は償還払い方式を変更し軽減後の額を通知教育・保育の向上に全力を傾けたい。②十月一日時点の待機児は二百七十五人。改修中の代々木保育園、初台保育園と西原保育園ゆめや八十二人、既存園四十二人、合計百七十八人の定員拡大を進めるが、来年度の申し込み状況等を勘案し、広尾と初台保育園の仮設園舎で各七十四人の緊急の対応を行う。二十八年度は、児童福祉センター内と代々木小学校跡地に、二十九年度以降は、笹塚図書館移転跡地、幡ヶ谷二丁目防災公園予定地に保育施設の準備を進める。昨年以上の定員申し込みがあり、引き続き定員拡大に努める。

**問** ①低所得者の保険料は据え置くべき。区独自の保険料利用料の負担軽減策は、預貯金額の制限を撤廃し、利用料が二割負担となる人も対象にすべき。②要支援者に対する訪問介護と通所介護の継続を第六期介護保険事業計画で明確にすべき。③旧本町東小学校跡地計画ではなく、ケアコミュニティ・原宿の計画を復活し、都の新たな施策を活用し、特別養護老人ホーム待機者ゼロを実現すべき。

**区長** ①保険料は計画作成の中で検討する。制限撤廃、対象拡大の考えはない。②現状のサービス低下を招かないよう、計画に組み入れる検討をする。③旧本町東小学校跡地に新たに設置することで区民ニーズに対応したい。

**問** ①低所得者の保険料は据え置くべき。区独自の保険料利用料の負担軽減策は、預貯金額の制限を撤廃し、利用料が二割負担となる人も対象にすべき。②要支援者に対する訪問介護と通所介護の継続を第六期介護保険事業計画で明確にすべき。③旧本町東小学校跡地計画ではなく、ケアコミュニティ・原宿の計画を復活し、都の新たな施策を活用し、都の新たな施策を活用し、特別養護老人ホーム待機者ゼロを実現すべき。

**区長** ①保険料は計画作成の中で検討する。制限撤廃、対象拡大の考えはない。②現状のサービス低下を招かないよう、計画に組み入れる検討をする。③旧本町東小学校跡地に新たに設置することで区民ニーズに対応したい。

**問** ①国に求める考えはない。繰越金は年度当初の支払財源。②今後の動向を注視。

**区長** ①国に求める考えはない。繰越金は年度当初の支払財源。②今後の動向を注視。



▷ 本町学園 光の舞台

**区本庁舎の建替え、伊豆・河津町の保養所問題等について**



日本共産党  
苦 孝二 議員

**問** 消費税一〇%増税の中止、集団的自衛権行使容認の閣議決定の撤回、原発の再稼働をやめ原発ゼロに、沖縄県名護市辺野古の新基地建設中止を国に求めるべき。見解を伺う。

**区長** いずれも国政の場で議論されるべきものと考える。

**問** ①国に求める考えはない。繰越金は年度当初の支払財源。②今後の動向を注視。

**区長** ①国に求める考えはない。繰越金は年度当初の支払財源。②今後の動向を注視。



▷ 特別養護老人ホーム 杜の風・上原

### 健康・福祉、子育て・教育について伺う



公明党 議員  
廣瀬 誠

健康・福祉について

**問** ①第六期の高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画の作成のため実施された「日常生活圏域ニーズ調査」では、認知機能の低下のリスクがあると思われる方は回答者総数の三・八％であり、認知症への対応は今後ますます重要のリスクのある方へのきめ細やかな対応、相談窓口となる地域拠点を生かすか。②子どもたちが健康の大切さやがんの正しい知識や患者への偏見を持たないよう、教育の現場で学ぶ機会を設ける必要がある。学校だけの取組では限界がある。関係機関との連携が求められるが、区の取組は。

**区長** ①認知症相談コーナーを創設し、地域包括支援センターの機能を、在宅医療相談窓口を統合した総合的な地域拠点を設置。また認知症カフェを設置する等さまざまな情報交換ができる機会を増やし、個々の対象者にきめ細かく継続的な対応を行う。  
**教育長** ②命の大切さに対する理解を深めることは、子ども

もにとっても重要。文部科学省で検討会を設置し学習指導要領改訂の必要性等を検討する予定と聞いている。保健所や医師会等と連携を図り、健康教育を進めていく。

子育て・教育について

**問** ①四月に百二十人であった保育園の待機児童は、十月一日現在二百七十五人となっている。ゼロ歳児対応として広尾の仮設園舎の継続的活用を提案する。②ハッピーマザー出産助成金制度は多くの方が利用し喜ばれているが、出産費用も上昇しており充実を図れないか。③教員と外部の専門家が一体となり学校の課題解決を目指す「チーム学校」に関して、区内小中学校の取組は。また教職員の精神疾患による休職が増えている。教師同士の協働や援助の重要性が大きな関心を集めているが所見を。④小中学校で福祉に特化した教育は実施されているか。

**区長** ①人口減少社会を見据え、待機児童解消を子育て支援の最重要課題と捉え「産みやすく、育てやすく、働きやすい」子育て環境整備のためさらなる定員拡大、保育の質の向上に全力を傾けていく。②緊急課題である待機児童対策を優先して実施したい。  
**教育長** ③専門スタッフを学校に派遣、機能強化し、必要に応じて関係機関と連携を図る。また教育指導教授が一對一の丁寧な指導を行い、技術的・精神的な面で教員を支える区独自の取組を充実させる。④小学校ではアイマスや車いす体験、中学校では特養ホームでの職場体験学習等積極的に取り組んでいる。

安全・安心の街について

**問** これまでの防犯対策としての補助金制度を復活、対象品目を拡充させ、さらに防災対策まで広げて新たに「安全対策補助金」制度として創設し、費用の一部補助としては、趣旨は理解できるが、防犯対策品については区民の自助努力で備えることが望ましいと考える。

行政改革について

**問** 財務書類作成の基本部分の統一な取扱い整理のため、新公会計制度の統一基準が国から示された。新たに財務書類を作成することで、コストやストックを把握し、財務情報への理解を深め、区の財政運営に対する区民の信頼感をさらに高めることにつながる。今後の新地方公会計の推進の見直しについて所見を。

**企画部長** 現行の電算システム更新の課題があり、的確な対応が必要。庁舎移転を控え、電算システムの更新を総合的



▷福祉体験学習(上原中学校)

に進める必要がある。一月の国からの正式な要請を待ち財務書類作成の具体的なスケジュールを検討する。

### 超福祉、コミュニティラジオ等 4 点を伺う



無所属 議員  
長谷部 健

超福祉について

**問** 福祉の視点から成熟した社会を考え、最新の福祉機器を展示したイベント「2020年、渋谷。超福祉の日常を体験しよう展」が十一月に実施され、カワイイと使ってみ

たいデザインや高テクノロジーの福祉機器や福祉サービスが展示された。また、先駆的な研究者や実践者、従来の福祉の文脈では登場しない人が未来について語り合うシンポジウムも開催、テレビや新聞でも取り上げられた。区の福祉作業所からも障がい者がパソコンを配るアルバイト等の参加があった。福祉作業所と平行ブランドのコラボレーションにより商品を作りこの会場で販売すれば一層良いと思われる。来年は区も積極的に関わっていくことで、超福祉のヒト・モノ・コトと区の福祉行政に役立てたいと考えるが所見を。

2020年、渋谷。超福祉の日常を体験しよう展



ある。区ならではのコミュニティFMの再生について、バックアップをいただきたい。  
**区長** コミュニティFM局は観光都市としての情報を発信するとともに、災害時のメディアとして有効な手段である。可能な限り積極的に協力をしていきたい。

若い世代の防災意識について

**問** 一般的に防災意識については、高齢世代のほうが高いと言われている。区の避難訓練でも高齢者の参加が目立ち、若い世代は仕事や育児でなかなか訓練に参加できないのが現状である。民間団体には、若い層をターゲットに代々木公園で特別に泊し、寒さの過酷さを体験したり、自衛隊のミニシヨントレーナーを招き学ぶ場を設けたりするイベントを行うところもある。また、このイベントではスタイリッシュでコンパクトにデザインされた災害時の対応マニュアルを発行している。区としてこのような団体と協同しながら、既存の避難訓練にプラスアルファする形で若い世代向けに防災意識を啓発することが必要と考えるが所見を。

**区長** 我が身、我が街を守る上で重要なのは自助・共助である。自宅における事前の備えはもとより、地域の防災訓練に参加し初期消火や応急救護等を身に付けることも、お互いに顔見知りになることも重要。提言の民間団体と協同しての避難訓練は、若い世代が防災に対して関心を持ち、自助を認識させるひとつの方法と考える。区も協力していきたい。

用語解説 ※クラウドファンディングインターネット等を利用して不特定多数の人から資金を調達すること

子ども達の海外留学について

**問** スポーツは言葉が通じなくても子どもたちが短期間で何かを感じ取るにはうってつけ。渋谷で海外で感じるんだことは次の世代にフィードバックされる。コーチも行くことにより、行けなかった子どもたちに最先端の指導法を伝えるためにも基金設立やクラウドファンディングの活用により区の負担を減らし、スポーツ分野における子どもたちの海外短期留学の検討をしてはどうか。

区長 どの子どもも等しく海外派遣の機会を提供していくことが大切。トップレベルの子どもたちの選抜、育成は日本ではなじみが薄い制度。

### 庁舎建替え、河津区民保養施設等について伺う



民主党 議員  
治田 学

庁舎建替えについて

**問** ①仮庁舎への計画は進める一方、建替え計画は一時凍結も含め事業案の練り直しを図るべき。②定期借地権については、七十年後に居住者は退去するの。管理組合の除却



②復活の考えはない。プールは子どもの安全確保第一。③国や都の基準に基づき進める。

**防災対策について**

**問** ①防災の役に立たず、土壌汚染の可能性が高い幡ヶ谷二丁目土地取得は撤回を。②区有施設の耐震化と民間住宅の耐震助成引上げを。

**区長** ①防災公園、保育園、高齢者施設を整備。土壌は所有者責任。撤回しない。②区有施設は順次耐震化、民間住宅は助成と、管理者の自覚で。

**区立幼稚園、五輪・パラリンピック調整担当について伺う**



民主党 吉田佳代子 議員

**区立幼稚園の今後について**

**問** 本町、臨川幼稚園は、平成二十三年の請願の趣旨を受けて予め保育を運営しているのか。今後の対応を伺う。

**区長** 子育て世代ニーズに応え預かり保育を実施。全ての子どもに等しく教育、保育を継続的に提供したい。

**五輪・パラリンピック担当**

**問** バリアフリー化等地域整備の調整専門部署が必要ではないか。現段階は設ける事情にない。今後の推移を見て対応。

**「河津さくらの里 しぶや」について伺う**



堀切 稔仁 議員

**問** ①「河津さくらの里しぶや」は耐震調査も明らかにしないで購入し、その後判明したのが最悪の耐震結果である。一度地震などが起きた場合、人命を失う危険すらある建物

の隣接館を使い宿泊させている。また、温泉宿泊施設であるにもかかわらず、大浴場は使えず不便である。対策は町営の温泉会館であり、二百五十メートルもの距離がある。利用料の軽減を図るべきではないか。②「河津さくらの里しぶや」オープンの日翌日、河津町長がバガテル公園の解散を発表した。同公園や、他の建物の更なる取得などがあるのか伺う。また、公園について、解散するようなことは知っていたのか伺う。

**区長** ①議員は私を背任罪で告発し、施設の取得を否定する民事訴訟を起こしている。区の取得が前提の質問は矛盾しており、答えようがない。②町営の施設については、私が答えることではない。

**産後ケア体制の支援強化を求める意見書**

子育て支援策で現在、大きな課題になっているのが出産前と直後の対応である。特に、妊娠中からの切れ目のない継続的な支援が必要である。

出産により、女性の心身には大きな負担が生じる。特に出産直後から一カ月間は、身体的な負担に加えて、急激なホルモンバランスの変化で、精神的に不安定になる傾向が強く、十分な休養とサポートが必要である。

近年、晩婚・晩産により女性の出産年齢が年々高くなってきている。出産する女性の年齢も高齢化しており、十分な手助けを受けられない状況がある。また、核家族化が進み、地域との交流も希薄化している中で、不安を抱えたまま母親としての育児がスタートするケースが多くなっている。

良好な母子の愛着形成を促進するうえで、出産直後の一か月間が最も大事な時期であり、更に産後早期の親子関係が虐待や育児放棄の予防・早期発見などの役割も果たすといわれている。従って、出産直後の母親への精神的・身体的なサポートは欠かせないものとなってきている。

国は平成二十六年度の予算に、これまで支援が届かなかった出産後の女性の心身をサポートする「妊娠・出産包括支援モデル事業」を計上した。少子化対策を進めるにあたって「産後ケア対策」は喫緊の課題であり、早急に確立する必要がある。

**庁舎建替え、区外施設の耐震について伺う**



笹本由紀子 議員

**問** 新庁舎建設計画を取りやめた場合、違約金はいくらかか。基本協定により、事業のリスクは事業者が負担する。

七つの区外施設の耐震は。宿泊できる区有施設について、それぞれの開設年月と築年数、大規模改修を行ったかなら、いつ、いくらかけたか直近のそれぞれの維持管理費はいくらか。施設の耐震診断の最も低い数値と、改修したならば、工事経費は。何を基準に改修等を考えるのか。

**区長** 耐震の終わっていない施設は、新島青少年センターと富山。新島は平屋で必要な維持補修はそれぞれ必要な時に行っている。新島の開設は昭和四十五年、維持管理費は千六百九十万円。富山は昭和五十六年竣工。榎原は昭和四十二年だが、平成十年に改築し、構造評点は一・〇六。山中高

よって、渋谷区議会は、国会及び政府に対し、次の事項の実現を強く求める。

- 一 「妊娠・出産包括支援モデル事業」を着実に実施すること。その上で、本事業の成果を速やかに検証し、全国の自治体で円滑に産前・産後の支援、特に産後ケアを提供できる体制を構築すること。
- 二 モデル事業の展開に当たっては、経済的な理由により、産後ケアを受けられないことがないよう、利用者負担軽減策を同時に実施すること。
- 三 単なる家事支援ではなく、産後の母子のこころからただの適切なケアが提供できるよう、産後ケアを担う人材育成を目的とした研修を行うこと。

以上、地方自治法第九十九条の規定により意見書を提出する。  
平成二十六年十二月九日  
渋谷区議会議長 名

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、厚生労働大臣 あて

原学園は新耐震。それぞれの施設が老朽化したり支障を来すとすれば、それぞれの年度で予算計上し整備していく。



**議会情報公開・個人情報保護実施状況**

情報公開関係	平成二十六年十一月一日、十一月三十日
請求件数	一件
文書件数	三件
公開件数	二件
非公開件数(不存在)	一件
個人情報保護関係	平成二十六年十一月一日、十一月三十日
請求件数	〇件

**植野修議員急逝**



渋谷区議会議員植野修氏(六十五歳)は、十一月十七日逝去されました。同氏は平成三年の区議会議員選挙に当選以来、連続六期にわたり区議会議員の職にありました。その間、文教委員会、交通問題特別委員会の委員長を、また、議員選出監査委員、第六十三代・第七十二代副議長として地方自治進展のため尽力されました。区議会は十一月二十日に臨時会を開き黙とうの後、弔辞奉呈を全員で決定し、同氏のご冥福を祈りました。

**会派等一覽**

(〇)幹事長 / (〇)副幹事長 平成26年11月17日現在 渋谷区議会自由民主党議員団 TEL 346310304	〇木村 正義 〇松岡 定俊 〇斎藤 竜一 〇佐藤 真理 〇五十嵐千代子 〇牛尾 真己 〇新保久美子 〇栗谷 順彦 〇広瀬 誠 〇久永 薫	前田 倫和 丸山 高司 染谷 賢治 田中 正也 菅野 孝二 菅野 茂 古川斗記男 沢島 英隆	民主党渋谷区議団 TEL 34631042 〇沢尻 一明 〇鈴木 建邦 〇須田 賢	〇丸九 義人 〇長谷部 健 〇無 所 〇岡田 麻理 〇無 所 属 〇須田 賢 〇堀切 稔仁	伊藤 毅志 小柳 政也 波 谷 〇佐々木弘明 〇無 所 属 TEL 34631098 TEL 34631082 TEL 34631060
---	---	---	---	---	---

# 委員会の活動状況

平成 26 年 10 月 24 日 ~ 平成 26 年 12 月 9 日

## 常任委員会

### 総務区民委員会

▼区民保養施設「河津さくら」の里「しぶや」の東館及び大浴場部分について、耐震診断の結果と今後の対応策について報告を受けました。

質疑の中で、利用者の安全性を第一に考え、丁寧な周知と適切な対応を早急に行うよう求めました。

▼特別区人事委員会報告について報告を受けました。今回の報告内容は、民間給与との公民較差を解消するため、職員員の月例給与期末手当等の引き上げを行うものです。

▼第四回定例会中の委員会では、解散に伴う衆議院議員選挙の執行事務費などを含む補正予算二件、職員の給与に関する条例の一部を改正する条例など八件、幡ヶ谷原町住宅改築工事請負契約一件の合計十一議案と請願一件について審査等を行いました。

の、生態系が想定されたほどには崩れていなかったことが報告されました。

事業終了後の松濤池維持などについて質疑が行われ、かいほりの記録を残し、環境に対する意識の啓発を行っていくよう要望しました。

▼十二月四日、笹塚一丁目、まちづくりについて報告を受けました。今後も住民の意見を十分に聞き、安心して快適に住み続けられるまちづくりを推進していくよう要望しました。

▼十一月十四日の委員会では、十月一日現在の保育園の待機児童数の合計が二百七十五人であるとの報告を受けました。質疑の中で、国有地や公有地の利用も視野に入れ、あらゆる保育資源を活用して待機児童の解消に努めるよう要望しました。

▼同日、西原一丁目に建設準備中の保育施設について報告を受けました。質疑の中で、保育施設の建設は重要な行政課題であり、地域住民への丁寧な説明により、理解を得て進めるよう要望しました。



▷ 鍋島松濤公園  
かいほり視察

## 文教委員会

▼十一月六日、鍋島松濤公園で開催された「かいほり事業イベント」を視察し、十七日、報告を受けました。渋谷駅周辺の観光資源となり渋谷の原風景を感じさせる公園とすることを目的としていること、外来種生物が捕獲されたもの

用語解説 ※かいほり＝水質改善や在来魚の保護のため、池の水を抜き堆積した泥を出し、池底を干したり魚を捕ったりする作業。

▼十月二十九日、「渋谷区私立保育園・認定こども園連合会との懇談会」を行いました。懇談会には渋谷区内の十五の私立保育園、認定こども園の代表者が出席し、各園の特色ある運営の紹介や、区へのこ

▼十月二十七日、渋谷区障害者団体連合会との懇談会を行いました。来年度予算に向けて、障害者施策の更なる充実を求める要望を受けました。重点項目として、広域災害時の障害者への対応策の充実、グループホームの早期設置、移動支

## 福祉保健委員会



△二十七年度開設予定の、広尾保育園跡地の保育施設

援事業の拡充及び手話言語条例の制定について強い要望がありました。

▼第六期高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画の策定状況について報告を受けました。介護保険事業計画等作成委員会の意見を踏まえた中間案を巡るよう要望しました。

▼十一月十四日の委員会では、十月一日現在の保育園の待機児童数の合計が二百七十五人であるとの報告を受けました。質疑の中で、国有地や公有地の利用も視野に入れ、あらゆる保育資源を活用して待機児童の解消に努めるよう要望しました。

▼同日、西原一丁目に建設準備中の保育施設について報告を受けました。質疑の中で、保育施設の建設は重要な行政課題であり、地域住民への丁寧な説明により、理解を得て進めるよう要望しました。

## 議会運営委員会

▼第四回渋谷区議会定例会について、区長から十一月二十七日に招集したいとの報告がありました。

▼提出予定議案として、渋谷区笹塚駅前区民施設条例など九例九件、平成二十六年年度一般会計補正予算(第五号)、幡ヶ谷原町住宅改築工事請負契約、人権擁護委員の候補者についての諮問一件を提出するとの説明を聴取しました。

▼当委員会では、区長の説明を受けて、定例会の会期及び日程について協議し、会期を十二月九日までの十三日間とすることを決定しました。

## 特別委員会

### 自治権確立特別委員会

▼十一月二日、三日に開催された「第三十七回渋谷区くみんの広場」において、「渋谷区」区「アンケート」を実施しました。これは当委員会がこれまで調査研究を行ってきた「都区制度改革」について、区民の意識や現状の認識を把握するとともに、今後の自治のあり方などを検討するための資料とするために行ったものです。

二日間で五百三十件の回答をいただきました。渋谷区の名



▷ くみんの広場  
渋谷区「区」アンケート実施

## 交通・公有地問題特別委員会

▼十一月十一日、渋谷・原宿・代々木の三警察署と三交通安全協会の関係者を招き、「区内の交通問題に係る懇談会」を開催しました。

三警察署の担当者から一、九月の交通事故発生状況は、昨年比で全体としては件数が減少し自転車事故も減少しましたが、残念ながら死亡事故が一件発生したこと等が報告されました。

また、各委員から出された、鐘ヶ崎・広尾中学校前・幡ヶ谷(初台側)歩道橋の撤去、渋谷駅西口歩道橋下の安全な自転車通行の確保、東大裏交差点での横断歩行者妨害取締りの強化、渋谷橋交差点の左折可標識や初台交差点の歩行者用信号を見やすくするなどの要望に対する回答があり、今後問題解決に取り組むよう要望しました。

## 五輪・パラリンピック対策特別委員会

▼十一月二日・三日の両日、代々木公園で開催された、「渋谷区くみんの広場」に五輪・パラリンピック対策特別委員会はブースを出展しました。

テント内では、前回、昭和三十九年に開催された五輪・パラリンピック東京大会当時の貴重な記録写真を多数展示し、たくさんの方々が興味を持って見ました。また、当特別委員会の活動内容を記したカードと合わせて、二〇二〇年の大会を記念したバッジをお配りし、六年後の東京大会の成功に向けて協力を呼びかけました。

▼十一月十日、北区にある東京都障害者総合スポーツセンターで、次回パラリンピック東京大会で渋谷区内の開催が予定されている、障害者の方たちによる卓球競技の練習を視察しました。

## 庁舎問題特別委員会

▼十月三十一日の委員会では、新総合庁舎等整備事業建設コスト高騰への対応等について報告を受けました。対応策として、敷地の有効活用による住宅棟容積率の割増しや定期借地権の評価額引上げが示されました。また、事業取引に伴う消費税は、実質的に事業



### 構成人数が 3人以上の会派

## 新春を迎えての各会派の抱負

### 渋谷区議会自由民主党議員団

防災、高齢者福祉施策、子育て支援を推進・拡充し「安心して住み続けられるまち渋谷」を実現します

あけましておめでとうございます。

昨年は区民の皆様より、力強いご支援とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。自由民主党議員団は責任会派として、区政の諸課題・区民ニーズを的確に捉え、「安心して住み続けられるまち渋谷」の実現に取り組んでまいります。

防災では、ICTを活用した情報連絡機能の向上・避難所や災害時医療体制などの一層の充実を図るとともに、災害対策の拠点となる新庁舎・新公会堂整備を推進し、高齢者福祉では、認知症対策をはじめ地域包括ケアシステムの構築を進め、特別養護老人ホーム・グループホームなどの施設整備も着実に進めます。また、障害者福祉では、グループホーム整備や就労支援施策の拡充に努め、子育て支援では、「子ども子育て新制度」への移行を円滑に進め、待機児童解消にも全力で取り組んでまいります。教育では、代々木山谷小学校の開校や「就学前オープンスクール」の全校実施など、更なる充実を図ります。まちづくりでは、二〇二〇年東京オリンピック・パラリンピックに向け、文化と観光にぎわいのまち渋谷の実現に努めてまいります。

本年も自由民主党議員団は、引き続き区民の視点に立った区政の実現を目指し議員団一同全力で取り組んでまいります。

### 日本共産党渋谷区議会議員団

住民の声と願いが生きる区政に切り替え、ため込んだ六三四億円を、いまこそ、くらし・福祉に

新年おめでとうございます。今年はいっせいで地方選挙の年です。私たちは、ひきつづき消費税増税、「戦争する国づくり」、原発再稼働の暴走ストップ、くらし、福祉第一の区政に切り替え、希望ある年へ、決意新たに全力を尽くします。

桑原区政の四年間は、区民には毎年国保料の値上げなどの負担増をおしつけ、福祉・教育予算をパッサリ削り、一方で、異常な住民不在の区政運営です。大企業のための区庁舎建替え問題では五回説明会が開かれましたが、「住民に何も知らせず強行やめて」「大企業に七十年も区民の土地の貸出しは問題」などの意見は全く聞かれました。区庁舎のあり方は住民参加で練り上げるべきです。伊豆・河津町の保養所は老朽化して危険な旅館を買収するなどで取得経費も不明瞭で、結局、大浴場などの建替えなどで五億円の多額な税金投入です。ただちに事業を廃止すべきです。

いまこそ、税金の使い方が問われています。私たちが、不要、不急の無駄づかいをやめ、ため込んだ六三四億円を使って、国保料の引下げ、値上げとされる低所得者の保育料を今まで通り無料に、認可保育園や特養ホーム増設、高齢者と高校生医療費無料化、商店街の活性化や木造住宅の耐震化、住宅リフォーム助成拡大の実現に全力をあげます。

### 渋谷区議会公明党

安心して暮らせるまち「渋谷」へ子育て支援、区民福祉など、政策実現に全力で取り組みます

新年明けましておめでとうございます。昨年は皆様より力強いご支援、ご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

渋谷区は昨年も非常に厳しい財政運営となりましたが、行財政改革を実施する中、渋谷区議会公明党は待ったなしの課題である、待機児童解消、高齢者福祉、防災対策に全力で取り組んで参ります。子育て支援においては、待機児童解消にむけて、これまでも四年間で千人を超える定員拡大を行い、全国トップの支援が行われてきました。さらに本年四月には、既存園の定員拡大、また区立保育室の新設で、三百人超の定員拡大が実現いたします。高齢者福祉では、待望の特別養護老人ホーム、高齢者住宅、都市型軽費老人ホーム等の開設が予定されています。さらに認知症高齢者対策として認知症初期集中支援チームが設置され、今後も、きめ細やかに継続的な対応を提供できるよう、全力で努めて参ります。防災対策では、昨年も被害が増大であった、集中豪雨等による水害対策にも、土のうステーションの増設を進め、さらに区民の皆様への「いのち」を守る対策の強化に取り組めます。これらも公明党は更なる防災力の向上、教育・子育て支援の強化、そして区民福祉・区民サービスの充実にも努め、皆様の声を区政に反映して参ります。本年もよろしくお願ひ申し上げます。

### 民主党渋谷区議会

区民本位の区政の流れと開かれたしくみへの改革をリードする議会に

新年明けましておめでとうございます。昨年は、地方議員のあり方が問われる出来事が多く起こった一年となりました。渋谷区議会でも、本会議討論をめぐって議論が進められました。行政に対するチェック機能を充分に果たすとともに、政策議論を存分に認める議会へ改革が必要です。私たちが区議団では、定例議会ごとに所属議員合同での報告会を各地で行ってまいりましたが、インターネット中継の対象の拡充、ライブ中継化をはじめ、開かれた仕組みの改革がさらに求められています。

総合庁舎の建替えをめぐっては、私たちが求めてきた住民説明会がようやく開催されましたが、計画全般について区民への情報開示はまだ不十分であると言えます。建設資材の高騰の影響などにより当初の見直しは不可避であり、区民参加による再検討を求めたいと思います。

第二保養所・河津さくらの里に関しては、東館・大浴場の耐震強度が低いままだと、開館を断念されたことは大きな問題です。保養所の機能をこのままに投入し続けるのではなく、スポーツ振興や高齢者施設などへの転用や将来的な売却なども検討すべきです。

### 無所属クラブ

小さなお子さんからシニアの方々まで、「みんなが笑顔で暮らせるまち・しぶや」を創ります

新年明けましておめでとうございます。

昨年は庁舎等建替えのための仮庁舎の工事が始まり、本年十月に仮庁舎に移転、現庁舎等の工事も着々と進みます。竣工は平成三十年度の予定ですが、新庁舎建設にあたっては、五十年後、百年後の渋谷の未来を見据えて、しっかりと区民の声を聴き、それを反映させる努力を重ねてまいります。また、無所属クラブが条例制定に向け、当初より係わってきた「客引き等禁止条例」が可決され、昨年十二月一日より施行されました。安全・安心のまちづくりのため、商店会・町会の皆様と一体となって、条例をより実効性のあるものにしてまいります。

### 奨学金制度の充実を求める意見書

独立行政法人日本学生支援機構の奨学金制度は、経済的理由により修学に困難がある大学生等を対象とした国が行う貸与型の奨学金で、無利息の第一種奨学金と年三%を上乗せする利息付の第二種奨学金がある。平成二十四年度の貸付実績は、第一種が約四十四万二千人、第二種が約九十一万七千人となっている。

しかしながら、近年、第一種、第二種とも、貸与者及び貸与金額が増加するなか、長引く不況や就職難などから、大学を卒業しても奨学金の返還ができていない生活に苦しむ若者が急増しており、平成二十四年度の返還滞り率は約三十三万四千八百人、期限を過ぎた未返還額は過去最高の約九億二千五百円となっている。

あけましておめでとうございます  
 今回は、第4回定例会の内容と新年のご挨拶を掲載しました。  
 今後も親しみやすい紙面づくりに努めてまいります。皆様のご意見・ご要望をお寄せください。本年もよろしくお願ひいたします。  
 ■区議会事務局調査係 TEL 3463-1096 FAX 5458-4939  
 ●電子メールアドレス kugikai@city.shibuya.tokyo.jp